

行動異常児における情緒発達の評価と援助

つくも幼児教室

阿部 秀雄 安藤 則夫
石田 遊子 小柴 真喜子
鈴木 佐江子

目 的

昨年度には、情緒発達に顕著な遅れを示す行動異常児（とくに自閉傾向児）の発達評価を行なうため、生後2-3年間の情緒発達を8つの段階として把握した。

本年度は、それぞれの段階における発達課題を4つの発達目標としておさえ、発達目標が達成されているかどうかを評価するための問診表を段階ごとに作成し、また、それぞれの発達目標に対応した援助方法を模索した。

方 法

昨年度同様、乳児院における行動観察、文献研究、つくも幼児教室に通園する児童に対する療育の試行を通じて研究を行なった。

結 果

それぞれの発達段階ごとの問診表、発達目標と援助方法（項目のみ掲げる）は次のとおりである。

第1段階・自足期（0か月～）

不快を表出し、解消されてしずまる

問診表

1. 不快なときしっかり泣きますか。泣くことは泣いても、泣き方が弱いですか。おとなしくて、泣いてよさそうなときでもあまり泣きませんか。

2. 不快の原因が何であれ、だっこやおんぶをされることで、多かれ少なかれ、ひとまず落ち着きますか。

3. 不快を表現したとき、不快の原因が理解でき、不快を解消させることが可能ですか。いったん泣き出すと、なかなか泣きやまない傾向がありますか。

4. 表情が固くこわばっている、振りしぼるように声を出す、悲鳴のような感じで泣くなど、全身的な緊張が常時見られますか。

発達目標と援助方法

目標1・不快をはっきり表現する

方法1・不快の表現を見逃がさない

目標2・だっこやおんぶでひとまず落ち着く

方法2・その子にあったなだめ方を工夫する

目標3・不快を解消されてしずまる

方法3・不快の原因を取り除く

目標4・身体緊張を和らげる

方法4・緊張が解けやすいように力を貸す

第2段階・微笑期（1-2か月～）

人をじっと見つめ、快適な働きかけを受けてほほえむ

問診表

5. だっこやおんぶなど、親子で体を触れ合って、揺れ遊びの相手をしてやると喜びますか。もっとやってほしいようなうすをしますか。喜ぶことは喜んで、今一步喜びが物足りませんか。

6. 声をかけたり笑いかけたり、あるいはそうした働きかけをしていなくても、よく目が合いますか。よく合うときと合わないときとあるのが気になりますか。よく合うのはどういうときですか。

7. 自分だけの遊びに没頭していて、人の

働きかけを喜ばなかったり、ある決まりきった遊びでしか人と付き合えなかったりしますか。

8. 親子で遊んでいて、笑いが長続きしますか。喜ぶことは喜んで、笑いがすぐ消えてしまいますか。

発達目標と援助方法

目標5・触れ合って喜ぶ

方法5・揺れ遊びで触れ合う

目標6・人に注目する

方法6・あやして遊ぶ

目標7・人付き合いをよくする

方法7・好機をとらえて誘い込む

目標8・喜びが持続する

方法8・笑顔が消えたらひと休みする

第3段階・期待期（3-4か月～）

人の働きかけを期待して喜び、それを活発に表現する。

問診表

9. 目覚めている時間全体を通じて、生き生きした表情で活発に体を動かし、活発に声を立てて笑い、涙を流して勢よく泣きますか。それとも生き生きとした感じ、活気といったものがどことなく欠けていますか。

10. 遊びに誘うと、遊んでもらう前から楽しさを期待して、うれしそうにはしゃぎますか。あまり期待してはしゃぐようすはなく、むしろ遊んでもらって初めて喜びますか。

11. 自分からうれしそうに遊びを求めてきますか。そして、期待通りにならないと、激しく泣いて怒りますか。

12. 喜びが高じて、人からの働きかけを意識できなくなるほどに、自分勝手に喜んでしまう傾向がありますか。

発達目標と援助方法

目標9・生き生きと活気づく

方法9・生き生きとした気分を伝染させる

目標10・楽しそうに触れ合いを期待する

方法10・あやしてから触れ合う

目標11・楽しそうに触れ合いを求める

方法11・求めるしぐさをしたら触れ合う

目標12・過度の興奮をしずめる

方法12・力を抜かせて触れ合う

第4段階・愛着期（6-7か月～）

母親と一緒にいたがり、触れ合って落ち着く問診表

13. 親しい人と遊びながら、アハハという軽やかな笑いが現れますか。つまり、興奮してキャッキッと元気に笑い興じるだけでなく、ゆったりと落ち着いた感じで笑いますか。

14. 母親とじゃれ合って気楽に笑いますか。つまり、ひたすら抱き上げられるのを期待して笑うという感じでなく、母親とのじゃれ合いそのものを楽しんで笑いますか。

15. つねに快適に揺らされて慰められていなくても、母親に身をまかせて落ち着きますか。

16. 泣いたときやこわがったときには、母親にすがりついてきて慰めてもらいたがりですか。

発達目標と援助方法

目標13・力を抜いて軽やかに笑う

方法13・緊張を盛り上げたあとでホッとさせる

目標14・母親とじゃれ合って楽しむ

方法14・「イナイイナイバー」で売り込む

目標15・母親に身をまかせて落ち着く

方法15・落ち着いてゆったりと触れ合う

目標16・すがりついて慰めを求める

方法16・のんびり構えてしっかり受け止める

第5段階・志向期（9-10か月～）

母親の近くで熱心に遊び、ときどき母親のなぐさめを求める

問診表

17. いろいろな事物に興味を示して取りに行く、といった目的行動がみられますか。またそれが子どもの手の届きにくい所にあっても、なんとか取ろうとがんばっているようすが見られますか。

18. 母親の所在を確認に戻って安心したり、

泣きながら母親を追い求めたりなど、母親を志向した目的行動が見られますか。

19. 母親とニコッと顔を見合わせるとか、声をかけ合うとか、直接触れ合わなくても少し離れた所において特定のしぐさで慰められますか。

20. 慣れない人が抱こうとすると泣き出す、声をかけると母親の陰に隠れるなどの人みしりや、初めての場所に行くとき母親から離れないなど、程度の違いはあってもなんらかの形で、慣れないことに対して不安なようすが見られますか。他方、身近な親しい人（家族や保育者）に愛着が広がっていますか。

発達目標と援助方法

目標17・母親のそばで目的をめざしてがんばる

方歩17・言うことから始める

目標18・母親のあとを追う

方法18・燃料を補給してやる

目標19・触れ合わなくても慰められる

方法19・離れた所から呼びかける

目標20・愛着を広げる

方法20・母親が仲を取り持つ

第6段階・得意期（12-13か月～）

母親と向き合って遊びをやりとりし、ほめられると得意になって同じ動作をくり返す

問診表

21. ある活動に取り組み、思い通りの結果を達成して、してやったりと喜びますか。

22. 本気で叱ればしょげてしまうものの、わざといたづらをして叱られるのを楽しむなど母親から思い通りの反応を引き出して喜ぶことがありますか。

23. 上手にできたことを母親からほめられて得意になりますか。活動の成果を自分から誇示し、認められて得意になりますか。

24. 母親と向き合って、ボールをころがしっこしたり、身振りや発音をまねし合ったりなど、活動のやりとりを楽しみますか。

発達目標と援助方法

目標21・目的を達成して喜ぶ

方法21・活動の盛り上がりとその達成を意識させる

目標22・いたづらを楽しむ

方法22・かけひきで応じる

目標23・ほめられて喜ぶ

方法23・活動のふしめではめる

目標24・目的を持って人とやりとりをする

方法24・やりとり遊びをする

第7段階・吸収期（15-18か月～）

身近な人のしぐさやせりふを進んで模倣し、簡単な手伝いをする

問診表

25. 母親の家事、父親の読書、兄姉の勉強など身近な人のしぐさを見て、自分と同じようにしたがりですか。

26. 「新聞を持ってきて」といった簡単な指示に喜んで従いますか。

27. 身近な人のしぐさを、しばらく時間をおいてからまねしますか。積木を「ブーブー」といいながら走らせるなど、何かある物を別の物に見たてて遊んでみせると、興味を示してその遊びにのってきますか。

28. 身近な人たちがしゃべるのをまねて、しきりにしゃべろうとしますか。

発達目標と援助方法

目標25・身近な人の行動を模倣する

方法25・楽しくふるまって引きつける

目標26・指示に従う

方法26・雰囲気に乗せる

目標27・見たて行動に興味を示す

方法27・見たてて見せる

目標28・しきりにしゃべろうとする

方法28・しゃべりかけてきたらきちんと受け止める

第8段階・自立期（21-24か月～）

自分ひとりでやりたがる、親からしばらく離れて他児と遊ぶなど、自立的な行動が目立つ

問診表

29. 服を自分で脱いだり着たりするなど、

いろいろなことを自分でやりたがりますか。たとえやりたがっても止められると、それ以上自分を主張しませんか。それともすべて人にやってもらいたがりますか。

30. 少々のことなら自分の納得づくで我慢したり妥協したりしますか。即座に満足できないと、すぐかんしゃくを起こして、なかなか自制できませんか。

31. 親や保育者から少しの間離れて、他の子どもの遊んでいる所に寄って行きますか。親や保育者の姿が見える場所だったら離れて行けますか。新しい場所に連れて行かれると親にしがみついで離れなくなりますか。

32. 自分が経験した感動を身近な人に伝えて共感してもらいたがりますか。

発達目標と援助方法

目標29・自主性を育てる

方法29・さりげなく助ける

目標30・自制心を育てる

方法30・かけひきを重ねる

目標31・母親から離れて他児と遊ぶ

方法31・遊びになじませ励ます

目標32・感動を伝え合う

方法32・じっくりと聞く

まとめ

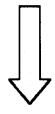
生後2-3年間の情緒の発達段階として想定された8つの段階のそれぞれについて、情緒発達に顕著な遅れを示す行動異常児(とくに自閉傾向児)を念頭に置きながら、4つの発達目標の達成状況を評価するための問診表を作成し、目標達成を助けるための援助方法を定式化した。現在日常の療育実践の中で試行を続けているが、なかなかの有効性を示しているように思われる。もちろん仮説的な部分を多く含んでいるので、今後さらに改良を重ねて行きたい。

発達援助の展開に当たっては、より低次の段階における不十分な、もしくは欠落した発達課題の達成に心がけるべきこと、また、療

育者が直接子どもに働きかけるよりは、むしろ母親がわが子に対する有効な育児主体となるように援助すべきことの大切さが確認された。

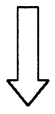
文 献

- 1) Ambrose, J.A. (1961): The development of the smiling response in early infancy. In B. M. Foss (Ed.), *Determinants of infant behavior* (Vol. I). London: Methuen.
- 2) Caplan, F. & Caplan, T. (1977): *The second twelve months of life: Your baby's growth month by month*. A Bantam Book.
- 3) Darwin, C. (1972): *The expression of the emotion in man and animals*. London: John Murray.
- 4) Emde, R. N. et al. (1976): *Emotional expression in infancy: A biobehavioral study*. International University Press.
- 5) Lewis, M. & Rosenblum, L. (Eds.) (1978): *The development of affect*. Plenum Press.
- 6) Sroufe, L. & Waters, E. (1976): The ontogenesis of smiling and laughter: A perspective on the organization of development in infancy. *Psychological Review*, 83, 173-189.
- 7) Sroufe, L. (1978): The ontogenesis of emotion. In J. Osofsky (Ed.), *Handbook of infancy*. Wiley.



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



まとめ

生後2-3年間の情緒の発達段階として想定された8つの段階のそれぞれについて、情緒発達に顕著な遅れを示す行動異常児(とくに自閉傾向児)を念頭に置きながら、4つの発達目標の達成状況を評価するための問診表を作成し、目標達成を助けるための援助方法を定式化した。現在日常の療育実践の中で試行を続けているが、なかなかの有効性を示しているように思われる。もちろん仮説的な部分を多く含んでいるので、今後さらに改良を重ねていきたい。

発達援助の展開に当たっては、より低次の段階における不十分な、もしくは欠落した発達課題の達成に心がけるべきこと、また、療育者が直接子どもに働きかけるよりは、むしろ母親がわが子に対する有効な育児主体となれるように援助すべきことの大切さが確認された。